

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.44

調査者	藤田 吾郎、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年5月11日
情報ソースの調査日	2020年5月15日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月21日
日本語タイトル	左心室補助装置によりサポートされている患者のセルフケアに対する COVID-19 パンデミックの影響
情報ソース	Gal TB, et al. The consequences of the COVID-19 pandemic for self-care in patients supported with a Left Ventricular Assist Device. Eur J Heart Fail. 2020 May 11.
情報のカテゴリー	生活期の心リハ
発信地域	アジア (イスラエル)、ヨーロッパ (イタリア、スペイン、オランダ、スウェーデン)
DOI	10.1002/ejhf.1868
URL	https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/ejhf.1868
要約	<ul style="list-style-type: none"> 左室補助人工心臓 (Left Ventricular Assist Device:LVAD) 患者のセルフケアには、システムおよびドライブインのケア、健康的なライフスタイルの維持、そして治療遵守などが含まれる。 適切なセルフケアに対する COVID-19 パンデミックの脅威は、疾患自体の発生のみならず、社会的制約、交通手段の制約、社会的距離、薬剤や消耗品へのアクセス困難、そして心理社会的ストレスなどにも関連する。 COVID-19 パンデミックでは、健康的な食事の不足、身体活動の不足、服薬アドヒアランスの低下、そして社会的サポートの減少などにより、セルフケア行動が複雑化する可能性がある。 LVAD 患者の身体活動を促進する解決策として、テレリハビリテーションセッション、テレビゲーム運動、そして理学療法士による LVAD 患者グループに対するビデオ指示などがある。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 生存および生活の質が、より専門的医療に依存している LVAD 患者に対する遠隔心臓リハビリの重要性について示されている。